

第62期

中間報告書

平成19年4月1日から平成19年9月30日まで

- 1P 株主の皆様へ
持てる力を「集積」して
OUGグループの瞬発力を養う
- 3P TOPICS
本年10月1日、荷受事業会社三社が合併し
「株式会社うおいち」が誕生しました。
- 5P 財務の概況〔連結〕
- 7P 財務の概況〔単体〕
- 9P 会社情報
株式の状況
- 10P GROUP NEWS
来春、新会社「株式会社シヨクリュー」が
誕生します。



OUGホールディングス株式会社



取締役社長

溝上 源二

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第62期中間期（平成19年4月1日から平成19年9月30日まで）の事業および財務の概況のご報告を申し上げます。

平成19年12月

第62期中間期の業績（連結）

当中間期における日本経済は、企業収益の改善が進むなか、設備投資は弱さが見られるものの増加基調を保ち、雇用情勢も厳しさが残るものの改善傾向にありましたが、個人消費は精彩を欠き伸び悩むという状況で推移しました。

水産物流通業界におきましては、世界的な魚食ブームを受け、海外での買付競争が激化し、国内では個人消費が伸び悩むなか、販売競争の激化により、仕入価格の上昇を販売価格に転嫁できないなど非常に厳しい経営環境下にありました。

当社グループ各社は、全体最適のグループ経営のもと、それぞれのミッション（役割）を明確にして、強固な連携により生産・加工・流通の分野において総合力を発揮して、経営環境に対応すべく積極的な事業活動を展開してまいりました。

しかしながら、当中間連結会計期間の売上高は1,776億40百万円（前年同期比98.8%）と減収となりました。事業部門別では、卸売市場における水産物卸売部門は1,084億47百万円（前年同期比98.1%）、卸売市場以外での水産物卸売部門は668億94百万円（前年同期比99.1%）、その他22億99百万円（前年同期比137.3%）となりました。

損益面では、売上総利益は117億16百万円（前年同期比97.9%）と減益となり、営業利益は1億20百万円（前年同期比20.5%）、経常利益は2億92百万円（前年同期比48.5%）となりました。

持てる力を「集積」して OUGグループの瞬発力を養う

中間純利益は、棚卸資産整理損1億73百万円、貸倒引当金1億10百万円の繰入などの特別損失の計上により、1億66百万円の損失(前年同期2億53百万円の損失)となりました。

今後の対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、景気は企業部門を軸に底堅さを保ちながら、緩やかな回復基調を維持すると見込まれるものの、信用力の低い個人向け住宅融資(サブプライムローン)問題の影響による米国経済の減速懸念や原油価格の動向など内外経済に先行き不透明感があります。

水産物流通業界におきましては、依然として個人消費の大幅な回復は期待できず、少子化による食品の消費量減少、消費者ニーズの更なる多様化、食品に対する安全・安心への要求の高まり、水産物資源の減少や海外での買付競争の激化など、厳しい経営環境下にあると予測されます。

このような経営環境に対応するため、当社グループは、「荷受事業(水産物が卸売市場を経由する卸売事業)」と「市場外事業(水産物が卸売市場を経由しない卸売事業)」の二つの事業をコア事業と位置づけ、両事業の連携強化によりシナジー効果を発揮し、競争力を強化することでグループの企業価値を高めてまいります。

「第1期OUG中期経営計画」の施策の一つとして、平成19年10月1日に当社グループの荷受事業会社であります大阪魚市場株式会社、和歌山魚類株式会社および滋賀県魚市場株式会社の三社が、大阪魚市場株式会社を存続会社として合併いたしました。

なお、大阪魚市場株式会社は、本合併を期して商号を「株式会社うおいち」に変更いたしました。

本合併により、株式会社うおいちの主たる事業所が、中央卸売市場4市場(大阪市本場・大阪市東部・大阪府・和歌

山市)と地方卸売市場1市場(滋賀県大津市)の5市場体制となり、市場外事業会社との連携を強化して、規模を背景とした効率化と市場機能の更なる強化を進めてまいります。

また、もう一つの施策として、平成20年4月1日を期日(予定)として、市場外事業会社であります大栄太源株式会社、株式会社スイッチョクおよびやまは食品株式会社の三社が、大栄太源株式会社を存続会社として合併いたします。

なお、大栄太源株式会社は、本合併を期して商号を「株式会社ショクリュウ」に変更いたします。

本合併により、現状の強みである商品を軸とした販売に加え、顧客起点の発想を重視して地域を基軸とした再編を行い、荷受事業会社との連携を強化して、当該三社が保有する顧客基盤と経営資源を相互補完・活用することにより、成長エンジンである「市場外事業」の競争力の更なる強化を進めてまいります。

当社グループは、荷受事業と市場外事業の2つのコア事業に加工事業、養殖事業、物流事業、外食事業、保険・リース事業を加え、グループ総合力を発揮し、「新しい水産物流通サービス業」を創造することによって、企業価値を最大化してまいります。

通期の連結業績に関しましては、平成20年3月期売上高3,750億円、営業利益16億円、経常利益19億円、当期純利益2億円を見込んでおります。

当期の期末配当金につきましては、本年10月に創業60周年を迎えましたことを記念し、1株当たり10円(普通配当金7円50銭、創業60周年記念配当金2円50銭)を予定しております。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年10月1日、荷受事業会社三社が合併し 「株式会社うおいち」が誕生しました。

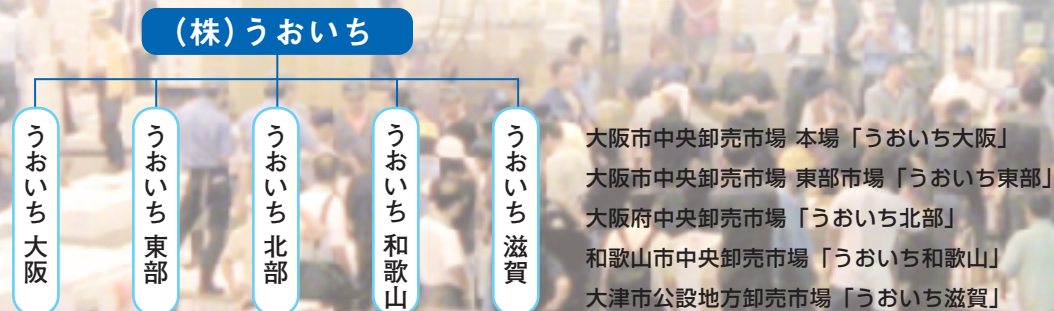
「株式会社うおいち」の点から面へ…荷受事業の新戦略

「第1期OUG中期経営計画」に沿った再編を進める上で、まず手掛けましたのが荷受事業会社三社の合併です。この合併は、OUGグループの経営基盤の構築と新たな事業展開に向けて必須であり、「近畿荷受ネットワーク」の構築においても欠くことのできないものです。

平成19年10月1日、OUGグループの荷受事業会社であります大阪魚市場株式会社、和歌山魚類株式会社、滋賀県魚市場株式会社の三社が合併し、新会社「株式会社うおいち」が誕生しました。株式会社うおいちの主たる事業所として、大阪市本場、大阪市東部、大阪府、和歌山市の4中央卸売市場と滋賀県大津市の地方卸売市場の5市場体制の下、荷受事業のネットワーク化を推進してまいります。それぞれの事業所の呼称を「うおいち大阪」「うおいち東部」「うおいち北部」「うおいち和歌山」「うおいち滋賀」とし、より地域に密着した事業活動を展開してまいります。

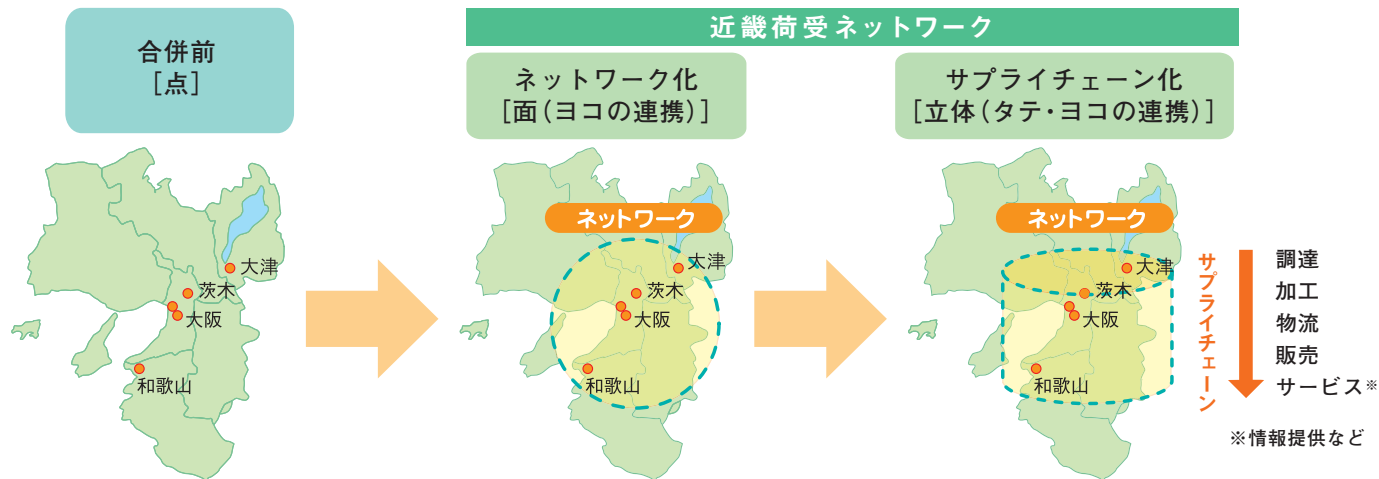
今後は、これまで各社が培ってきたノウハウを活かしていくことはもちろんのこと、近畿圏の卸売市場における販売力の強化、仕入れの集約化による調達力の強化を通じて競争力を高め、サプライチェーン化を推進し、売場提案、メニュー提案など顧客ニーズに応えうる多品種販売体制によって顧客起点の営業への転換を実現していきます。さらに、重複する機能や間接業務を集約化することで経営効率を高めてまいります。

平成20年4月に市場外事業会社三社の合併が予定されておりますが、グループ間の連携強化に取り組み、より安全で安心な水産物を提供し、豊かな食文化の創造に努めてまいります。



近畿荷受ネットワークの構築

近畿における荷受事業のネットワークを構築することによって、競争力の強化を図る。



会社概要

商号：株式会社うおいち
 代表者：代表取締役社長 勝屋 昭雄
 設立：平成18年10月2日
 資本金：2,000百万円
 従業員数：658名（平成19年10月1日現在）
 事業内容：水産物の集荷・仕入 受託・買付販売
 水産物の開発輸入ならびに輸出
 水産物の加工
 不動産の賃貸ならびに管理



平成19年11月 山陰松葉ガニ 初せり風景



財務の概況 [連結]

中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	(単位:百万円)		
		当中間期 (平成19年9月30日現在)	前年中間期 (平成18年9月30日現在)	前期 (平成19年3月31日現在)
資産の部				
流動資産		69,866	70,442	63,611
現金及び預金		3,384	2,619	3,204
受取手形及び売掛金		38,351	40,395	37,946
たな卸資産		25,409	24,347	19,260
繰延税金資産		843	971	671
その他		2,399	2,996	3,023
貸倒引当金		△ 521	△ 888	△ 495
固定資産		24,016	26,385	25,803
有形固定資産		13,048	13,454	13,134
建物及び構築物		4,325	4,632	4,420
機械装置及び運搬具		1,203	1,193	1,180
器具及び備品		155	180	165
土地		7,363	7,448	7,363
建設仮勘定		—	—	4
無形固定資産		169	159	180
投資その他の資産		10,798	12,772	12,488
投資有価証券		9,086	11,274	10,535
長期貸付金		1,027	1,100	1,221
長期滞留債権		2,276	2,738	2,125
繰延税金資産		663	28	638
その他		1,018	1,145	1,106
貸倒引当金		△ 3,275	△ 3,514	△ 3,139
資産合計		93,882	96,827	89,415

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)

科目	期別	(単位:百万円)		
		当中間期 (平成19年9月30日現在)	前年中間期 (平成18年9月30日現在)	前期 (平成19年3月31日現在)
負債の部				
流動負債		66,088	64,653	54,819
支払手形及び買掛金		27,166	28,339	23,796
短期借入金		35,006	32,186	26,715
未払法人税等		255	120	437
未払消費税等		43	45	340
賞与引当金		663	647	642
その他		2,953	3,312	2,888
固定負債		9,467	7,633	9,183
長期借入金		3,721	3,423	4,211
長期未払金		418	—	—
再評価に係る繰延税金負債		433	446	433
退職給付引当金		2,000	2,059	2,057
役員退職慰労引当金		52	453	473
負ののれん		1,459	150	130
その他		1,380	1,098	1,876
負債合計		75,556	72,286	64,002
純資産の部				
株主資本		16,118	15,732	16,801
資本金		6,495	6,495	6,495
資本剰余金		6,042	6,042	6,042
利益剰余金		4,073	3,680	4,763
自己株式		△ 493	△ 485	△ 500
評価・換算差額等		1,360	2,405	2,254
その他有価証券評価差額金		2,076	3,092	2,972
繰延ヘッジ損益		67	119	100
土地再評価差額金		△ 783	△ 807	△ 818
少数株主持分		847	6,403	6,356
純資産合計		18,326	24,541	25,412
負債純資産合計		93,882	96,827	89,415

財務の概況 [連結]

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当中間期	前年中間期	前期
		自平成19年4月1日 至平成19年9月30日	自平成18年4月1日 至平成18年9月30日	自平成18年4月1日 至平成19年3月31日
売上高		177,640	179,759	376,841
売上原価		165,924	167,795	351,051
売上総利益		11,716	11,963	25,789
販売費及び一般管理費		11,596	11,374	23,151
営業利益		120	588	2,638
営業外収益		450	302	469
営業外費用		278	288	485
経常利益		292	603	2,621
特別利益		41	46	363
投資有価証券売却益		29	46	363
貸倒引当金戻入益		12	—	—
特別損失		395	268	925
棚卸資産整理損		173	—	—
貸倒引当金繰入額		110	—	—
合併に伴う退職給付引当金増額戻入額		41	—	—
経営基盤整備費用		—	150	275
減損損失		—	109	204
その他		69	8	445
税金等調整前中間(当期)純利益		△ 60	381	2,060
法人税、住民税及び事業税		192	73	416
法人税等調整額		△ 71	585	871
少数株主損失		14	24	38
中間(当期)純利益		△ 166	△ 253	811

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当中間期	前年中間期	前期
		自平成19年4月1日 至平成19年9月30日	自平成18年4月1日 至平成18年9月30日	自平成18年4月1日 至平成19年3月31日
I.営業活動によるキャッシュ・フロー		△ 2,881	△ 3,669	1,068
II.投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 4,238	△ 541	17
III.財務活動によるキャッシュ・フロー		7,330	4,265	△ 433
IV.現金及び現金同等物に係る換算差額		—	—	—
V.現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)		210	55	652
VI.現金及び現金同等物の期首残高		3,132	2,479	2,479
VII.現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高		3,342	2,534	3,132

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結株主資本等変動計算書

当中間期(自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年3月31日残高	6,495	6,042	4,763	500	16,801
中間期の変動額					
剰余金の配当			402		402
中間純利益			166		166
自己株式の取得				7	7
持分法適用会社減少に伴う減少高			120	14	105
株主資本以外の項目の中間期の変動額(純額)					—
中間期の変動額合計	—	—	689	6	682
平成19年9月30日残高	6,495	6,042	4,073	493	16,118

	評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計		
平成19年3月31日残高	2,972	100	818	2,254	6,356	25,412
中間期の変動額						
剰余金の配当				—		402
中間純利益				—		166
自己株式の取得				—		7
持分法適用会社減少に伴う減少高				—		105
株主資本以外の項目の中間期の変動額(純額)	896	32	35	893	5,509	6,403
中間期の変動額合計	896	32	35	893	5,509	7,085
平成19年9月30日残高	2,076	67	783	1,360	847	18,326

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務の概況 [単体]

中間貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	(単位:百万円)		
		当中間期 (平成19年9月30日現在)	前年中間期 (平成18年9月30日現在)	前期 (平成19年3月31日現在)
資産の部				
流動資産		12,401	30,361	8,971
現金及び預金		23	515	107
受取手形		—	214	—
売掛金		—	21,634	—
たな卸資産		—	8,096	—
前払費用		37	—	9
繰延税金資産		10	528	12
未収収益		14	—	10
関係会社短期貸付金		12,100	—	8,400
その他		214	181	431
貸倒引当金		△ 0	△ 809	△ 0
固定資産		27,966	21,122	24,742
有形固定資産		3,132	3,388	3,176
土地		1,999	2,010	1,999
その他		1,133	1,377	1,177
無形固定資産		43	34	45
投資その他の資産		24,790	17,699	21,520
投資有価証券		22,931	16,081	20,338
長期貸付金		481	2,365	331
繰延税金資産		1,331	179	802
その他		118	2,008	120
貸倒引当金		△ 72	△ 2,935	△ 72
資産合計		40,368	51,483	33,714

注記事項

(当中間期) (前年中間期) (前期)

- 1.有形固定資産の減価償却累計額 1,509百万円 1,693百万円 1,464百万円
- 2.偶発債務(保証債務) 8,281百万円 9,370百万円 7,897百万円
- 3.記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)

科目	期別	(単位:百万円)		
		当中間期 (平成19年9月30日現在)	前年中間期 (平成18年9月30日現在)	前期 (平成19年3月31日現在)
負債の部				
流動負債		17,776	28,565	10,440
支払手形		—	875	—
買掛金		—	12,391	—
短期借入金		17,625	12,833	10,238
未払金		84	—	134
未払費用		10	—	6
未払法人税等		17	36	31
賞与引当金		15	323	15
その他		23	2,104	14
固定負債		4,912	4,524	5,000
長期借入金		3,051	2,026	3,184
長期未払金		174	—	—
退職給付引当金		—	947	—
役員退職慰労引当金		—	201	178
債務保証損失引当金		1,400	1,350	1,350
預り保証金		286	—	288
負債合計		22,689	33,089	15,441
純資産の部				
株主資本		15,698	15,514	15,535
資本金		6,495	6,495	6,495
資本剰余金		6,042	6,042	6,042
資本準備金		6,033	6,033	6,033
その他資本剰余金		8	8	8
利益剰余金		3,653	3,446	3,483
利益準備金		858	858	858
その他利益剰余金		2,795	2,588	2,624
買換資産圧縮積立金		292	296	292
別途積立金		1,446	1,446	1,446
繰越利益剰余金		1,056	845	886
自己株式		△ 493	△ 470	△ 485
評価・換算差額等		1,980	2,879	2,737
その他有価証券評価差額金		1,980	2,878	2,737
繰延ヘッジ損益		—	0	—
純資産合計		17,678	18,393	18,273
負債純資産合計		40,368	51,483	33,714

財務の概況 [単体]

中間損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当中間期	前年中間期	前 期
		自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日	自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日	自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日
売上高		1,208	104,068	104,687
売上原価		230	99,922	100,131
売上総利益		977	4,145	4,555
販売費及び一般管理費		402	3,671	3,965
営業利益		575	474	589
営業外収益		97	300	317
営業外費用		49	169	195
経常利益		623	605	711
特別利益		—	—	143
特別損失		52	96	316
税引前中間(当期)純利益		570	509	538
法人税、住民税及び事業税		1	7	10
還付法人税等		1	—	—
法人税等調整額		△1	59	49
中間(当期)純利益		572	442	478

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

営業成績および財産状況の推移

(単位:百万円)

区 分	年度		平成17年度 第60期		平成18年度 第61期		平成19年度 第62期
	年 度	中 間	通 期		中 間	通 期	中 間
			平成17年度	平成18年度			
売上高		104,003	213,531	104,068	104,687	1,208	
経常利益		590	1,230	605	711	623	
中間(当期)純利益		△1,174	△1,224	442	478	572	
1株当たり 中間(当期)純利益		円 銭 △ 21.74	円 銭 △ 22.68	円 銭 8.21	円 銭 8.90	円 銭 10.68	
総 資 産		52,540	45,166	51,483	33,714	40,368	
純 資 産		17,872	18,945	18,393	18,273	17,678	

注記事項 1.1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式総数から自己株式数を控除した株式数に基づき算出しております。

2.当社は、平成18年10月1日にOUGホールディングス(株)に商号変更し、会社分割により全事業である荷受事業を新設の大阪魚市場(株)(平成19年10月1日に連結子会社和歌山魚類(株)および滋賀県魚市場(株)と合併し、(株)うおいちに商号変更しております。)に承継し、純粋持株会社体制に移行いたしました。このため、当中間期の財産状態および経営成績は前年中間期と比較して大きく変動しております。

中間株主資本等変動計算書

当中間期(自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)

(単位:百万円)

	株 主 資 本							自己株式	株主資本 合 計	評価・換算 差額等	純 資 産 計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			株主資本 合 計				
		資本準備金	その他資本 剰余金	利益準備金	その他利益剰余金	繰越利益 剰余金					
平成19年3月31日残高	6,495	6,033	8	858	292	1,446	886	△ 485	15,535	2,737	18,273
中間期の変動額											
剰余金の配当							△ 402		△ 402		△ 402
中間純利益							572		572		572
自己株式の取得								△ 7	△ 7		△ 7
株主資本以外の項目の 中間期の変動額(純額)									—	△ 757	△ 757
中間期の変動額合計	—	—	—	—	—	—	170	△ 7	162	△ 757	△ 594
平成19年9月30日残高	6,495	6,033	8	858	292	1,446	1,056	△ 493	15,698	1,980	17,678

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

OUGホールディングス株式会社

会社概要

主要な事業内容 定款に定められた事業を営むこと、ならびに定款で定められた事業を営む会社およびこれに相当する事業を営む外国会社の株式もしくは持分を保有することにより、当該会社の事業活動を支配、管理することおよびこれに関連する業務を行うことを目的としております。

設立 昭和21年6月12日(創業 昭和22年10月)

資本金 6,495百万円

発行済株式総数 55,362,921株

従業員数 27名

役員の体制

取締役	代表取締役社長	溝上源二
	代表取締役	竹西俊之助
	取締役	谷川正俊
	取締役	下川真二
	取締役	久保田博
	取締役	勝屋昭雄
	取締役	薄波卓郎
	取締役	白川勝弘
	取締役	久井恵之助 (社外取締役)

監査役	常勤監査役	村中義美 (社外監査役)
	監査役	岡本英宏 (社外監査役)
	監査役	富田孝雄
	監査役	谷和道

執行役員	常務執行役員	増田安利夫
	執行役員	中江一夫
	執行役員	原田史郎
	執行役員	村松保範
	執行役員	中尾宏行

顧問	顧問	加藤精一
----	----	------

株式の状況

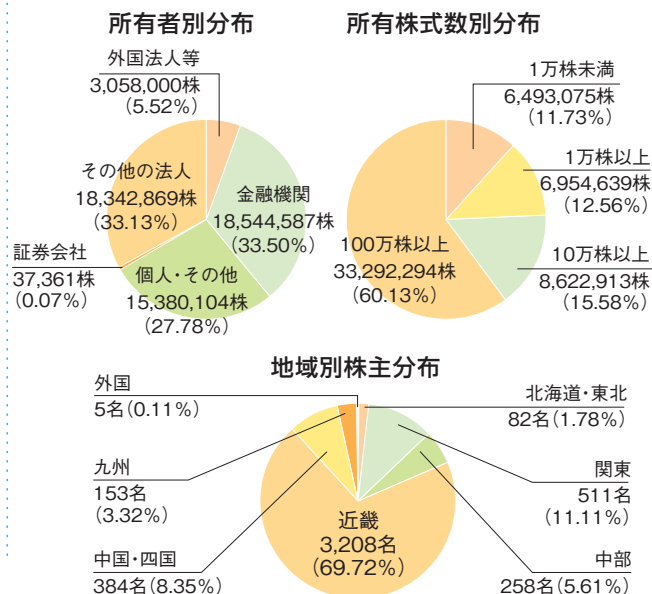
発行可能株式総数	209,159,000株
発行済株式の総数	55,362,921株
株主数	4,601名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)
株式会社マルハグループ本社	5,825
日本生命保険相互会社	3,680
ゴールドマンサックスインターナショナル	3,039
農林中央金庫	2,636
株式会社みずほ銀行	2,581
丸紅株式会社	2,000
株式会社りそな銀行	1,842
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,742
株式会社ニチロ	1,626
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井アセット信託銀行再信託分・ CMTBエクイティインベストメンツ株式会社信託口)	1,600

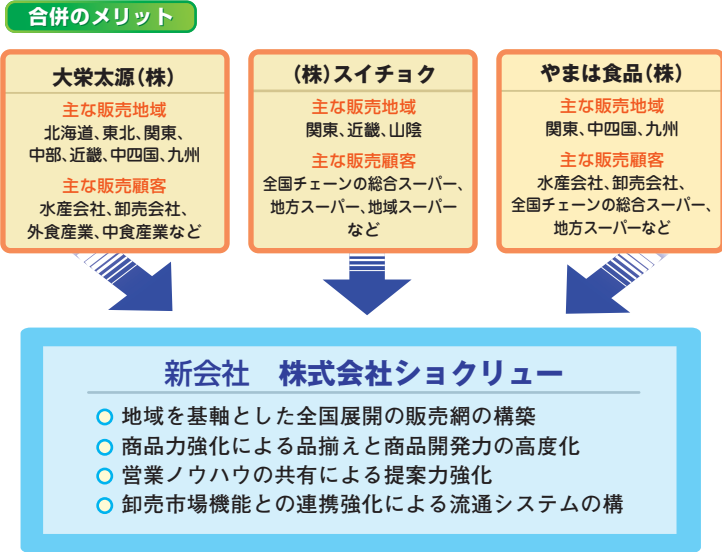
(注) 1. 会社法施行規則第122条第1項に定める大株主は、株式会社マルハグループ本社1社であります。(株式会社マルハグループ本社は、平成19年10月1日付で実施した株式交換により株式会社ニチロを完全子会社とし、商号を株式会社マルハニチロホールディングスに変更しました。)
2. 上記以外に自己株式1,744,141株を保有しております。

株式分布



来春、新会社「株式会社ショクリュウ」が誕生します。

「第1期OUG中期経営計画」における事業再編の一環として、平成20年4月1日(予定)、グループの市場外事業の中核を担う大栄太源株式会社、株式会社スイチョコク、やまは食品株式会社の三社が合併し「株式会社ショクリュウ」が発足します。この三社の合併により経営効率の向上はもちろんのこと、シナジー効果を生みだし、顧客満足度を高めるサービスの提供が可能になると考えています。



新会社の概要(予定)

商号：株式会社ショクリュウ (英文名：Shokuryu Co.,Ltd.)

本社所在地：大阪市中央区本町2-1-6

代表取締役社長：竹西 俊之助(現OUGホールディングス(株)代表取締役)

資本金：5,211百万円

合併期日：平成20年4月1日

株主構成：OUGホールディングス(株)

従業員数：687名

合併方式：吸収合併(大栄太源(株)を存続会社とし、(株)スイチョコク及びやまは食品(株)は解散します。)

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
定時株主総会開催	6月
基準日	定時株主総会 3月31日 その他必要があるときは、取締役会で決議し、 あらかじめ公告する一定の日
配当金受領株主確定日	3月31日
公告掲載新聞	日本経済新聞
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒534-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話0120-094-777(通話料無料) 株式関係のお手続き用紙のご請求は、 次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインター ネットでも24時間承っております。 ○電話(通話料無料) 0120-244-479(本店証券代行部) 0120-684-479(大阪証券代行部) ○インターネットホームページ http://www.tr.mufg.jp/daikou
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店 野村證券株式会社 全国本支店
上場金融商品取引所	大阪証券取引所市場第一部(証券コード8041)

免責条項

本報告書に掲載している将来に関する予想については、
現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に
基づいています。

実際の業績は、さまざまな要因の変化により、
異なる場合があることをご承知おきください。

OUGホールディングス株式会社

〒553-0005 大阪市福島区野田1丁目1番86号
大阪市中央卸売市場内
TEL:06-4804-3031 FAX:06-4804-3145
URL <http://www.oug.co.jp>

当社のHPを ご活用ください

当社HPでは、当社の最新ニュースを株主・投資家の
皆様向け、発信しております。IRニュースや決算発表
を行うページ、グループ各社の紹介等、様々な情報を
掲載しておりますので、是非ご活用ください。

COMPANY
PROFILE

GROUP
VISION

TOP PAGE

URL <http://www.oug.co.jp>